滿洲日報

○報價目
每月收取八角代價所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

一連 全 四圓
一プールスカップ 全 一圓
一中判洋紙 百枚 二圓
一半紙野紙 四十枚續 二十錢
一卷紙 十二四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一絨毛布 一枚 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宣德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料 一ヶ月以內 ……
一長期連掲減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
橫濱正金銀行牛莊支店
電話 十番 支配人室　百八番 事務室

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
勝山丸 廿六日入港
三河丸 廿六日入港
プロメシュス號 四月廿八日未明出帆 門司、橫濱行
山東丸 五月三日出帆 大沽、芝罘、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
日海丸 四月廿七日入港
日の出丸 廿七日午前出帆芝罘、長崎行
第三多聞丸 四月廿九日出帆門司、橫濱行
摩耶山丸 四月廿九日入港
金龍丸、大龍丸、國見丸 臨時芝罘定期
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮洲丸 四月三十日入港乘客謝絕
汕頭丸 五月一日入港 四日出帆門司、神戸行
代理店 ブッシュ兄弟商會
東營口公園地橫 遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印井其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨布標布手巾花布東洋緞子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
運搬特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白
電話 東店五五 西店一〇

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行并滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二隻棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜營有輪船一隻名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 集亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幫火輪船生意兼賣各樣洋什貨樣石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本帝國政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒克）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸貴客欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 頼朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連平昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本清酒一概俱全又有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井 電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院 招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し幾に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すべし
營口 瀛華實學院
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院進亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹
▲亜鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲疊
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
（電話八十一號）
任東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委託販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書精各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）
丸重洋行

材木 荒物 販賣
營口永世街第一八四號牛野町
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店

齒科名醫到營
治療齒痛之法爲衞生上必要之一端尚未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余嘗深以爲憾頃二志士特請居留天津之齒科名醫出添豐二君來營即在舊高田洋行內從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否茲不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈
營口有志者白

太古輪船公司
啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東西遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皆交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

東京電報

●赤十字船の急航 我赤十字社は這般對岸友邦に於ける大震災に同情を寄せ該災厄より生せし負傷者を見舞の爲め病院船として海軍所屬汽船久壽保丸？を桑港に向け急航せしむる事に決せり (二十五日午後四時四十分發)

倫敦電報

●破壊家屋の取片付 桑港に於ては破壊家屋の取片付に着手せり屍体約五百收容されたるも死者の總數は未詳なり

●震災損害額の計算 信頼するに足る計算に依れは財産の損失は六〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗に近く其內三五〇、〇〇〇、〇〇〇弗は保險付なり

●震災と鐵骨築造物 有名なるサンフランシスコ、コール新聞館の如く高き鐵骨築造物は內部は破壊せるも外部は毫も損傷なきことは注意の價値あることゝす

●政府の申込 トランスバル政府はナタル政府に對し「ズール」征伐の爲に五〇〇人の志願兵を維持するに足る武器糧食を供給すへしと申込めり

●大統領の視察員招待 佛國大統領は當時佛蘭西に在る清國の視察員を午餐に招待せり

●白耳義練習艦遭難 ベルギー國海軍練習艦一艘ビスケー灣に於て暴風に遇ひ乘組員五十四名少尉候補生三十名の內唯二十六名助かりたり (以上四月二十四日發電)

雜報

●省城管見(四) (在奉天特別通信員)

商務總會と公議會

こは近來省城に於ける面白き取組なり、春與一日見るに趣味ある取組なり、官克つか商負くるか、所謂チャレカラ凱歌を奏すへきや、所謂紺前垂組屈服すへきか、扉入連中大に片唾を飲んてあり、怨むらくは木村庄之助のなきを、公議會とは義和團事變後當地商民によりて編成せられたる公共團體なり、內城外城に十六個の公議分局を有し總會一ヶ所現時之か會首たるものは甘志謙(寶和堂藥舗)劉賢基(天合東棟房)張玉書(天立鋭棟房)王聚貴(日盛隆鮮茶舗)趙張璽(蘭箔原烟行)の五名にして、市面の事に付き公共其局に當り其勢力輕視すへからさるものあり商務總會とは然らす、商務局によりて新設せられたるも、の現に其事業として商業講習所及ひ商務演說會を城內長安寺に開き、進んて一般當地商民の團體として商民間の商事契約、會社、登錄等一般の商事務に干涉して商務の啓發を試みんとしたるものなり、其始め商民を勸誘して挙けて會員たらしめんとせしも、商民は官吏の事業に屬するを餘り喜はさるの風なり、故に其結果今た捗〻しきを見さりしか、商務總會の進んて城內外三千の商舗に會費毎年一等二十四圓二等十二圓三等六圓を賦課せんとするや、忽ち[illegible]反對を買ひ、目下愈〻[illegible]威嚴を損にして商民の[illegible]しつゝあり、斯くて此二會の取組は、遂に商務總會の讓歩となりて現時の商務總會の組織を擧けて、公議總會に讓らんとするの動議出てたりと聞く、其代りに公議總會の會首を官選にせんとの條件なりと、然れとも公議會に於ては會首は民選にあらすんは不可なりと極論するを以て此動機また未た決着せす、新舊の衝突はけだし新章を布し新法を設けんとする清國に於ては免かれさる所なるも、如斯根據なき意氣地なき商務總會の新設遂に徒らに平地に破瀾を生するに止まる如きは餘り喜ふへき現象にあらさるへく、清國當局者の一顧を煩はしたきものなり

●遼陽通信 四月二十三日 綠城生

▲鐵道授受の餘聞 二十日昌圖を發し昨二十日當地に皈來せる或る皈客談の確かなる一節によれは鐵道授受委員の一行は二十一日愈露國委員と會見二十二日より前方へ進入の豫定にて第四日目には公都嶺へ到着の筈なりと而して今回は公都嶺の鐵道受領を終へ一行は一先つ皈遼の途に就き公都嶺以北長春間は第二回に授受を行ふ事になりおれりと云ふ

▲昌圖貨物の輻輳 尙は皈客談に曰く昌圖は目下鐵道線路の最終地點なるを以て此より北部滿洲へ輸送する大小の貨物毎日の荷卸は實に幾百千梱を以て數へられ頗る混雜紛亂を極め居れり尙は是より四平街迄は支那車輛により運送するか故に毎朝六時より九時に至る間數百輛の車輛停車場に蝟集する狀態は到底日本にて睹得へくもあらぬ盛觀にして眞に目を驚かさん計りなり而かも其の貨物を一たひ檢査する時は轉た慨嘆に堪へさるものなり何そや幾多の貨物中一個の日本貨物を發見せす悉く支那產にあらされは米國產綿等にして想ふて玆に至れは吾邦商工業の前途に不安の念起さゝらんとして起さゝるを得す云々

▲日本人會評議員 去る二十日第二回日本人會總會を開催し評議員改選は略して水澤軍政官の指名を仰くに決したる次第は既報の如くなるか今回軍政官より左の諸氏に指名ありたりと

佐々木商會小野幸次、宅合名會社井上繁吉、有馬組海南右門、農園會高野邦基、遼東館井上鋼三郎、岡村洋行岡村鋭介、青木洋行青木達四郎、福榮洋行三輪善兵衛、山本洋行山本新吾、向井洋行向井龍造、遼東ホテル木村常吉、高田洋行高田雄民、林洋行林曉賀

▲日本人會長の改選 日本人會長海南右衛氏の任期充ちたるを以て本日午後評議員は日本人會事務所に會合して會長の互撰を行ひ終はりて新舊評議員の歡送迎會を東雲館に催ふす筈なり

▲何知州の皈陽 豫ねて奉天に出張中なりし遼陽知州何厚琦氏は去る十七日皈陽せり

▲古森藤次郎氏の死去 運河開鑿論を主張せる古森藤次郎氏は通江口に於て急症に侵され本月十四日遂に同所に長逝せるを以て同鄕人たる當地農園會の高野邦基氏は發起となり有志者と共に去る十七日盛大なる葬儀を當地本願寺にて行ひたり

▲東雲館支店の擴張 當地の東雲館支店は今回業務擴張せんとて數多の藝妓を抱ふることゝなれは不日新輸入と共に粹界爲めに賑しからんと噂とり〴〵なり

●滿洲官煙の失敗 滿洲に於ける日本官業煙草の失敗なりと近着報知新聞の掲ぐる所を摘記すれは從來滿洲の我官煙專賣權を有し居るは久米民之助江副廉造二氏にして政府は外國輸入煙草に打勝つ爲め專賣者には非常なる保護を與へ門司大連間の輸送は御用船にて無賃輸送を爲し大連より滿洲內地の市場に輸送するには是れ又鐵道の無賃輸送を爲し且つ拂下代金の如きは一厘の利益を見す原價を以て專賣權者に拂下け十分なる保護を加へあるに反し外國煙草即ち上海の一私立會社にて製造するピーコックは滿洲內地到る處に存在せさる無く滿洲人の脳裡にピーコックなる商標を深く浸み込ましむると同時に非常なる嗜好を有せしめ見る間に成功し我專賣煙草は滿洲內地より驅逐せんとし今や戰時中外國煙草の輸入に不便なるに乘し外國煙草六專賣煙草四の割合に迄販路を擴張せる戰勢力は平和克復後再ひ外國煙草の蠶食を受け遂に我官煙を壓倒して外國煙草七日本官煙三といふ狀況に陷らしめ滿洲內地官煙販賣の策源地たる專賣局出張所の倉庫に現在八千梱の煙草を堆積し當事者をして梅雨期迄に其賣捌口に頭痛を病ましむるの狀態なるは大に遺憾とする所なるのみならす政府事業か一私立會社の爲めに敗北せるは國家の體面にも關する事なりと爲せるは當事者の一讀に値すと謂ふへし

海軍大臣齋藤實氏

●鐵道受領の經過 二十一日西沙河子の會見に於て我委員長中村少將より礦山及び鐵道の狀況に關する露國の說明を求め併せて便宜上長春迄の鉄道を引渡さんことを提言せるに礦山と鐵道との狀況に就きては委しく說明を得たるも長春迄の鐵道引渡しに就きては二十九日四平街に於て回答すべきの返答を得たるとは當時我特派員の電報せる所なるが昨今回答は已に四平街に於て之を得たる筈なるも通信上の不便の爲に未だ我特派員の詳細報道を得ずと雖も聞くが如くば多分露國は尚撤兵上の都合もあり今回は單に公主嶺迄を引渡して長春は第二回に引渡すべき意向なれば二十五日には滿足の回答を得ざるを以て我委員は鐵道にして引渡すを得すんば我邦に於ても夫々鐵道修理の準備もあれば我日本の官吏及び之に伴ふ商人の長春に入るを承引せられたしとの意を以て交渉し重て回答を待ちつゝある筈なりといふ記して後報を俟つ

●滿洲の領事館管轄區域 從來滿洲三省は當牛莊領事館の管轄に屬せると固より論無し然れども北滿洲の地殊に哈爾賓の如きは種々の事情よりして露領浦鹽斯德貿易事務館に於て其事務を取扱ふの便利なるよりして北滿洲は事實上に於て浦鹽斯德貿易事務館の管轄に屬せるが如し此變則なる仕來りは在留邦民をして甚適從に惑はしめ平時に於てすら頗る不都合を免れざりしに日露戰爭開始の際に當り其引揚上非常の失態を來せるは世人の夙に熟知する所なり然るに今や東三省己に開放に決し奉天安東縣の領事館設置も近日中に在るを以て此際其管轄區域を確定し近々外務省令を以て公表せらるべしといふ

●內田公使歸朝決定 豫ねて歸朝を命せられ居る內田駐清公使は愈々來月十日を以て塘沽より相摸丸に搭し歸朝することに決定せる由にて同月三四日頃一たひ天津に抵り袁總督へも告別する筈なりと傳へらる後任は噂の如く前駐韓林公使にして內田氏歸朝の上は外務次官に再任せらるへき事は蓋し確定議なるか如しといふ

●鐵嶺其他の居住邦人數 四月十五日に於ける鐵嶺開原法庫門の在留人邦現在數を擧くれは左の如し

	戶數	男	女	計
鐵嶺	四五四	七五八	二七七	一、〇三五
開原	四三	五五	一二	六七
法庫門	二七	二八	〇	二八

猶此外旅行滯在を擧くれは鐵嶺に男二百名女二百名計四百名許開原に男女八十名許法庫門に男女四十名許ありと

●遼河組合理事長に就て 遼河輸送組合にては嚢に理事長高坂景顯氏辭任以來後任者今に決定せず其儘に遷延し組合員は種々の事項起生するも協議上非常に困難するを以て此際急に相當人望と經驗とある者を推選したしと某當事者は語れり最も事務整理上且つ補欠中神野良氏其他一二の人事務を處理せるも時に或は困難を生する事あるべしと云ふ

●松榮座本日の狂言 天神記宮本左門之助、大序より大詰迄其役割は▲宮本左門之助、西奉行彥吉左衛門、勘八(千代花)▲お辰(美代松)▲石垣兵衛(美根代)▲彥吉左衛門妻、源氏ぶし(小美桝)▲鼠取藥賣、盗小頭、東奉行原軍次平、大山太郎(美澤次)▲油屋娘お玉、彥娘、田坂矢十郎(美根六)▲玉井松、森田傳作、下郎新七(美根八)▲油屋忠平、鈴木源吾(美花丸)

投書かご

▲過般來印入の服裝で當地松月のお花にのろけ四五日も流連を極め込み太平樂を並べ居るものが居つた此奴曲者と注意を拂ふとも御存知無く頻りに運送屋仲間へ檄を飛ばして素敵な威勢であつたが散々の飲喰否流連の揚句囊中無一物と爲つて五十圓の才覺をやつて漸く退却したが其お代りに又々何柳とかいふ同輩が來てお花裙にズタ浸かりに浸かつて居るさうだ斯ういふ仕儀では運送屋たる者二萬圓の保證金を入れて如何程儲けた所で埋まるもので無い(杞憂生)

▲西北街日本町附近に何んとかいふ小料理店があるが該店のお客は揃も揃つて皆支那人である日夜に拘らず硝子戶の外から數十人のチャン公が覗き見をして居る近所隣りの者が五月蠅くて邪魔に爲りますから何とかチャン公の行かないやうにして貰ひたいものだ(雪雨)▲近所の者の投書に南永世街某料理店としてあつたが其れは慥に〇〇〇といふ小旗亭であらう僕も其事は聞ひて居たが抱女をいじめるとは實に甚しいさうだ國の親達も定めて酷い目にあはせて下さいとは賴まぬかつたらうこんな奴を征伐するには粹客樣達が皆んな寄りつかずに自然と衰亡させるに限るどうか左樣贊成をして下さい(近所總代)

▲春の花見も今や將に散り果てんとする今日此頃なるに一昨夜平野町〇月の誤婦人達は然かも店先きにて五六の來客對手に輪座し虱取り眼にて四季の花見とは實に見苦しき行爲ならずや以後注意せよ(注告生)

●松榮座一口評 朴捻生

初日以來不景氣知らずの大入續きに[illegible]元に申すに及ばず一座馬脚の者共迄恐悅至極に存候と毎夜〳〵の御披露今に一座の連中が合資の岡本銀行を設立して正金の向ふを張るとの噂とり〳〵に記者も信用の如何に依つては或は十錢廿錢の預金をしてもと一昨夜景氣見旁覗いた一口評を記さんに此日の藝題は新演劇十二ヶ月葦分舟一名兄は罪人弟は警部と云ふ目新しい藝題であつた、記者の行つた頃は早初幕は總つて二幕目公園地紀念碑前茶店の場であつた、座頭千代花の葦名太郎、容貌、せりふ慥に資產家の放蕩息子と受取つたが父親より勘當を受け藝妓小紋の家に至り無心を吹掛け拒絕せられた上ゴロツキの爲め円外へ擱み出され無念極まりて切齒扼腕する所は觀客をして充分同情を寄せしめたるも尻を捲くりて歸る所甚た惡し抑も太郎役なる者は元資產家の息子なる故幾等放蕩に身を持ち崩したりともゴロツキの如き態度を取るは少々不似合なり二役葦名太郎左衛門、銀行頭取の價値充分見えた養澤を云へは切腹の場合少々間の抜けた所があつた、併し這は對手役の技倆充分ならさる爲めか、美根六の二男太郎、元來優は年齒未た足らざる漸く本年取つて十六の妙齡にも係らず何役をなすとも甘くやつて除ける腕前には唯々感々服々だ、爲に何劇をなすも終始骨子の役を勤めて居る殊に此日の劇も千代花優に次での骨折役、兄の罪を已に被り四人となり若役中許嫁靜子が父の墓所に詣でる道にて計らず出遇ひ滿腔の熱血を絞り話し合ふ所は滿場の觀客をして漫ろ落淚を禁ずる能はざらしめた、優よ益々勉强せよ、美根代の藝妓小紋、骨も身も暴慾で凝まつて居る薄情一點張りの藝妓とは慥に見えて無難の大出來、隣り棧敷の看客は云ふ藝者と云ふ者は凡てあのやうな者であらうと、二役下男梅造忠義の下僕とは見たが躰のこなしに不足があつた、小美桝の秋月靜子、警部の娘としては少々立派過ぎる嫌いがあつた何れより見るも慥に貴顯の令孃としか見えぬ餘り上出來で却つて惡し、美澤次の源次、破落漢としては少々貫目がない今一息、二役秋月警部言語明晰にして先づ〳〵不足なきも苟も身は行政官として例へ如何なる事情があるとも罪人の前にて淚を絞るが如き事は面白からず、美花丸の小紋母、極惡無道の鬼婆とは慥に受取つたが此優は音聲に少々不足あり今一段婆々聲をして貰いたかつた、其他は先づ〳〵上出來、美根八、美千代の諸裙は御苦勞々々

又例に依つて一二小言を併べよう、總じて一座の連中は新演劇よりも舊演劇の方餘程面白味があるやうだとは一般の評らしい故に可成舊演劇の方をやつて貰いたい又幕開中が馬鹿に短かいやうだ　併し這は舞臺の狹まい爲ならんも何とか一番工夫をして貰いたい、それから請元に一つ小言を申そう中茶屋が注文もせない茶菓子を無暗に押賣するのは甚だ氣障りだ、何も押賣せなくとも入用なれば客より注文する筈だ之れ丈は是非廢して貰いたい、それからお上のお役人に一つ願いたい事がある開演中大聲を發して馬鹿口をする者が隨分數あるらしい一人の爲め滿場の見物は役者のセリフも十分聞かれず折角の快樂も爲めに丸ゼロだ、何とか然るべき取締は御座りませんか

●營口花信 一時荒びれて居た一力も此頃折々ドンチャンの聲を聞くやうに爲つた阿呆鳥を押へるは今時である折角勉强するがよい▲金城館へ新猫が十四許り來た皆東京のネキ物でヘチャクレ許りのさうだ併し彼等は營口藝妓として最も必要なる資格に於ては毫も缺くる所が無いのである▲元一力のおりんちやんが開業した公樂園の料理は安くて美味くてそれにヘイ今晩はと言つて出る南爪のやうな白拍子は中々の愛嬌者ぢやげな

汽車發行

▲上行車時刻表

車站名	開 午點分	到 午點分
新民屯至溝邦子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇
山海關至唐山	上 一二、一八	下 [illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開 午點分	到 午點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四一

稅關手續 一、船舶輸出入荷物取扱 一、荷物保管 [illegible]

賄方入用 [illegible]相當身元ある[illegible]

諸鐵工製作 礦山船舶機械鐵工 營口 [illegible] 川鐵

天氣 營口地方天氣豫報 自二十五日午後六時 至二十六日午後六時 [illegible]

小説

新作小説 おとし胤　德田秋聲

（四十七）

若も始めて、此の一喝を喰ツたら、誰にしても驚いて縮上ツて了うであらう。けれども數馬は、此の尖ツた、鋭い、荒々しい聲には馴れてゐる。それで、

「ま、兄樣、お靜になさい。此處は往來でございます。」

「往來は知ツとる………往來が何か。光を早く探して來い。若も万一のことがあツたら何うするのぢや、取返しが付かん。」

「万一のこと〻は？………何んのことですか。」と數馬は、寧ろ間の延びた調子で、「大丈夫ですよ。光さんだツて子供ぢや無いですよ。加之熱田が付いて居るですから、そんなに御心配なさることは無いでせう。」

「馬鹿を謂へ、お前は實に馬鹿だ。光が子供で無いから、また熱田が付いて居るから心配なんぢや。」

「何故ですか。」

「何故………何故………何故と謂ツて………」

海鹿子爵も、流石にいふを憚ツてか、口籠ツた。

數馬は、無頓着に、

「いや、大丈夫ですよ。迷子になる心遣はありません。」

『馬鹿、お前は、實に神經の鈍い奴な。俺の心配するのは、そんなことでは無い。火藥を火の前に置けば爆發するといふのだ。何んでも可いから、疾く探して來いといふに。」

「ですが、その、何方へ行ツたか、鳥渡ト當が付かんですから………ひよツとすると、先へ家へ歸ツたかも知れません。」

「家へ歸るもんか。きツと此の邊を彷徨いてゐるに違ひない。」

「然うですかな。」と數馬は、きよろ〳〵其處らを見廻しながら、併し何方へ行ツたか解らんですが。」

「解らんといふことがあるか。解らんと謂ツて、此のまゝにして置かれるか。何んでも構はんから、其處らを探し廻るのだ。此の徑を行ツたのなら、此の徑を何處までも行ツて見るのだ。俺も行くから、お前も來い。」

と謂ひながら、海鹿子爵は、數馬を押退けるやうにして、自分先立になツて徑を直進する。數馬も爲方なしに、その後に續いた。

少時行くと、徑が三叉になツてゐる。海鹿子爵は、と立停ツて、

「何方へ行ツたのぢや。」

「それが解らんです。私は、左の方へ行ツて見たのですが………」

「然うか。よし、それでは、お前左へ行け。俺は、右へ行ツて見る。」

「然うですか。成程然うすれば、何方かゞ逢ひませう。」

「逢ツたら、お前直に歸邸らんければ可かんよ。」

そこで、兩人は左右に別れた。別れてから、海鹿子爵は、左右の雜木林、または徑に鋭く眼を配りながら、大急ぎの大跨歩。そして五六町餘りも進むだ。けれども目差す兩人の影は見えなかツた。

風が少し出て來て、畑や徑から、埃がパツと立つ。枯芒が、さツと靡いて、日光は急に映々しくなる。林が煌く、影が閃く。何處からとなく爽な小鳥の聲が聞えて來て、海鹿子爵は、何んとなく熱ツた頭を冷されるやうに覺ゆるのであツた。

ふとした拍子に、

「然うさ、實際然うだツた。此の俺も、若い時分には、此樣な機會を切望してゐたもんだ。いやさ、此樣な機會があツたらと夢想して、若い女に戯れることが、何樣かに面白かツたか知れないと。」考出して、「親の迷惑や、娘の生涯を過らすことなぞは考へはしない。たゞ一時の興味さ、淺猿しい情慾だ。此の興味と情慾の爲めに、心を盲にして、あらゆる手段を盡して少女の魂を誘惑するのだ。そして少女を汚したら、我が事成れりとして悅んでゐた………恐ろしい罪惡だ。罪惡と知りながらも、若い血が燃えるのだから仕方が無い。犧牲に適當の者さへあツたら、直に敢行する。而も何時も熱心に此の犧牲となる者を目付けてゐるのだから耐らん………それで、俺は、光の母の生涯を過らせた。光の母は、確に俺の犧牲になツたのだ。ところで、その娘の俺の娘か、今や人の犧牲とならうとしてゐる………」

海鹿子爵は、轉人生の秘義を解せられたやうに思ツて、悚然として身裏を寒くするのであツた。

春の海　黄雨

眞帆片帆霞にきえてうら〳〵と
あさひ長閑にのぼる海面

霞　同

はなと見せ花にはあらで春かすみ
日影まはゆき今朝のしま山

同　東村

夕霞やしろの森にほころびて
ねくらの鳥むれさわきけり

船　虚空洞

麗かや帆と帆の北へ南へ
南風吹くや西する船の出帆旗
妻ありて船にもあるや雛祭
舵取の勢にヲカヘ一旦四セを
花咲いて墨田にボートレース哉

廣告

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を請ふ
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
姙婦の入院を請ふ（産婆大道しげ子）

院長　醫學士　森　矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎　五月一日ヨリ開設ス

森病院（電話一五五）

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム

四月十二日　營口有志者白

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、
萬醬油、白米、上等鰹節、
罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度て奉願上候也
營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

道日暖氣相增候處各位益御清榮之段奉ト賀候陳者弊商會儀御當地開業以來各位の御愛顧を蒙り候段難有奉深謝候然るに此度都合に依り引揚歸國致事に決定致し候間何卒不相變御寄誼の程願上候先は以紙上御挨拶如斯御座候也
追而御文通の御方樣は長崎市萬屋町酢屋宛御發信被下度候也
營口永世街第九十一號市街鐵道西
長崎酢屋出張所　長門商會

古料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

和洋雜貨
盛進商行

新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

開業
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月　日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司
廣告

歐米各國最新流行形
西海洋服店
水田街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ會席ト仕候へ御意ニ從ヒナンデモデス
ビガイ　グンシ
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

M. Iazuka,
Contractor,
Architect and Civil Eginneer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

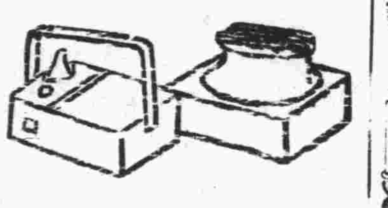
大阪商船會社荷客取扱所
内外船舶代理係貸借仲立
輸出入税関手続

瀛船出帆案内
日東丸　本日出帆　芝罘、門司行
第二乾坤丸　本日出帆　門司直行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所
諸品委托賣買
倉庫業
西北街
德重洋行

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
右之外御誂に應す
月　日
營口元神廟街二〇號



會席料理
三日月
營口警務課前南へ入る

和洋御料理
一力
杏代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供し座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

旅館　御料理
扶桑館
奉天大西関大什字街第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清祥の段奉賀候陳者閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
營口二本町
祇園閣旅館部
主人　敬白
（電話二四四番）
各位

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話百七十八番）
御會席和洋料理　東京樓支店
（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

梅毒婦人科
外科胃腸病
專門　日本醫院
全身魔醉局處魔醉新器械無痛手術
輕便入院
永世街警務課ノ前

元神廟街憲甲第二三〇號　宅合名會社支店

當店義都合有之本月限リ閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

宅合名會社　營口支店

閉鎖廣告

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候　清酒　澤龜　印　ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院內ニテ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日　宅洋行

胃腸病新藥　消化劑　糖化素　医学得業士　矢島氏發見

滿洲特約一手販賣　東瀛大藥房　營口大街

本劑寘治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便若澁之諸症均有卓効

發明者日本醫學得業士　矢島猴太郎　謹白

[illegible]洋行　（電話三百三十七番）

雜貨商（元神廟街）

本行開設以來早已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切粧品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

銘酒　白鶴　諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引　酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候　敬具

井門洋行　營口元神廟街　電話一八五

遼陽西門外　仝支店

大日本政府特定　營口付紙捲煙草　滿洲一手輸入發賣

江副洋行　營口永世街

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士　森川範一
土木部主任技師　永原万吉
營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業　井上公司

萬代不朽　毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）　井上公司

●大日本帝國有名方劑　●化粧品一切藥　●卸賣　小賣

右內地と同樣の廉價を以て卸小賣共親切に取扱可申候間多少に不拘萬事御用命被仰付度奉希上候　電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候

大阪谷回春堂滿洲總售處（營口永世街警務課司法部東隣）　三木天洋行　回天堂大藥房（電話百九十番）

日本有名秘藥物發售廣告

[illegible]

無論零賣整賣均可

營口永世街警務課司法部東隣　三木天洋行　回天堂大藥房（電話百九十番）　啓

木料　標子　木板　發賣　塩川商會　遼陽小西門內　鹽川商會

●建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

清國營口本町二五五號　主任　鹽川峯吉（電話一三六番）

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘備致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候　敬具

活版印刷　并に製本

弊所特色　●印刷鮮明　●價格低廉　●叮嚀專一　●期日正確

營口入口永世街東二角本町　川本活版所

[illegible]帝國醫科大學模範業局御用[illegible]
攝津灘石崎合資會社釀造

銘酒　澤之鶴　優良清酒

滿洲特約大販賣

周　裕和盛號支店　清國營口西北街　電話八十一番

大連湖北彩票　毎日賣出

○酒保用品雜貨　○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰　○洋酒食料品各種　○和洋煙草各種　○菓子類各種

東清鐵道裕和盛運輸局

○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、　○支店清國、芝罘　○本店日本長崎梅香崎

裕和盛は　清商中日本通の本張一

澤之鶴は　既に定評ある天美錄一

美味安價西洋料理　牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所（第一市場南側）

當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷煙草は毎二ヶ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候
尚賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ヶ月毎に競賣に附して賣却可致候

エン、マリホールド

質屋營業

精々勉强御更宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街有憲第三十六號　北斗洋行質屋部

一　關內外蘆漢鉄道貨物運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱）
一　海關手續
一　鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一　船舶貨物取扱
一　其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號　大清通運公司　營口支店

時刻

唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝帮子至新民屯	上三、〇〇	下六、五七

引換書御送附…相成…ハ保管可申候
市場北三階樓 時計店ノ二階 宮原公司

急至 本社A生迄申出でられたし

土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般 …街東

市場報

昨日氣温
昨日の氣温 最高温度六十七度八 最低温度四十四度四 昨年との 高十三度一 高四度三

奏議

頭品頂戴署理山東巡撫直隸布政使臣楊士驤跪 奏爲揀員調補省會要缺知府以裨地方恭摺具陳仰祈 聖鑒事竊照濟南府知府胡建樞升授兗沂曹濟道接准部咨光緒三十一年十二月十九日奉 上諭山東濟南府知府員缺緊要着該撫於通省知府內揀員調補所遺員缺着玉構補授欽此欽遵在案查濟南府知府係省會要缺管轄十六州縣辦理通省發審且現在舉行新政省城開風氣之先尤須竭力提倡表率屬僚非精明幹練熟悉時事之員不足以資治理臣督同布政使吳廷斌按察使連甲於通省現任知府內逐加遴選查有泰安府知府吳筠孫年四十五歲江蘇儀徵縣人由附貢生應光緒十四年戊子科順天鄉試中式舉人十五年考取內閣中書六月到閣行走十六年八月補授內閣中書十二月奉 旨記名總理衙門章京十七年二月浙江賑捐案內移獎花翎四月截取引 見奉 旨以主事用十八年正月順直賑捐案內移獎五品銜二月順天賑捐案內移獎換戴花翎應光緒二十年甲午 恩科會試中式貢士本年試二甲一名由進士改翰林院庶吉士二十一年散館授職編修二十三年九月充 會典館協修官十月於海關攤捐洋息案內移獎在任以知府遇缺先選用二十四年三月恭修 會典全書過半保准俟得知府缺後賞加三品銜二十六年九月因勸辦湖北賑捐案內出力保准俟得知府缺後以道員用二十九年二月簽掣河南知府五月初四日引 見初五日奉 旨補授河南河南知府十二日奉 旨調補山東登州府知府欽此領憑到省八月十八日到任因與前登萊青膠道何彥昇兒女姻親經正任撫臣周馥奏請迴避調補泰安府知府三十年五月初八日 旨依議欽此復因救護商船案內出力保准隨帶加二級三十一年四月十五日到任該員精明幹練體用俱優現署濟南府知府措置裕如以之調補濟南府知府實堪勝任與例亦屬相符合無仰懇 天恩俯准以泰安府知府吳筠孫調補濟南府知府實於省會要缺有裨銜缺相當毋庸送部引 見該員係再調之員應繳任內罰俸銀兩已飭催完繳所遺泰安府知府員缺遵 旨即以玉構補授除咨吏部外理合恭摺具陳伏乞
皇太后 皇上聖鑒飭部核覆施行謹 奏奉 硃批吏部議奏欽此

中外要聞

●滇緬畫界近聞　滇緬界線前經英公使薩道義繪出送交外部當經外部電咨滇督丁制軍按照該公使所繪界線查明咨部頃據滇督電覆外部云該公使所繪界線尚有參差之處刻已派員詳細測繪容再詳咨大部核奪

●優待德使　德公使業已出京卽於前日覲見 兩宮以該公使在京力倡撤退戍兵之擧甚爲感激擬令外部造具頭等雙龍寶星頒贈該公使以酬其盛意

●華義交誼　當辛丑聯軍返國時義大利國依庚子條約得駐兵黃村及山海關昨歲義國以駐陸軍於北清實於實際上並無利益且恐因此反於兩國交際上有壞感情故於去夏六月首先將駐紮北清之陸軍盡數撤退代以水軍百名本年春間義大利內閣決計將駐在北清黃村之水軍全數撤退而以義所建造之黃村兵房全行贈與北京政府聞駐京義大利公使業巳奉有羅馬政府訓令已將願贈黃村兵房及撤退水軍情形照會外部此說雖未見公報然本社確已探得確實義華交際從此日親矣

●肅親王視察蒙古紀聞　肅親王已起程定出古北口巡歷喀喇沁熱河烏尼圖巴林等東部蒙古地方此次行期豫定三個月內外爲率其歸途或出奉天而回至於巡閱庫倫一帶則因經費未足故未定行止又聞由練兵處派武官往庫倫地方調查軍備云

●美都司赴漢　美國使館護衛兵隊統帶都司某君近擬以漢口一鎭爲中國地方之中心點南北東西鐵路連接之所在加以鄂省新練各軍駐紮于此因特擬到漢游歷藉以考察新練各軍以資見聞云按數日以來日公使到漢未幾而美都司繼之漢口爲重要地方于茲可見但近接漢口來函言前日漢鎭大火燒燬至千餘家未審于地方情形有無影響耳

●中德交涉　德國駐箚膠州提督向來文牘告示中皆用總督字樣卽上年海州之案所有南洋大臣往返公文全用總督字樣現在外部忽以總督字樣不合向德公使交涉而德公使以此事並無關繫答之

●奧使接管領銜公使之任　德國駐京公使穆默氏促裝回國已定三十日出京茲聞已將各國駐京領銜公使之任務移交奧國公使接管云

●俄使不允縮短撤兵期　聞俄公使璞科第已允將東省之兵於十八月以內一後撤清不能再行縮短期限

●中俄議約近況　月前俄使璞科第君托病不肯開議滿約二旬之久於本月初始再開議兩三次之後唐侍郎偶患風邪迄未告痊故爾後仍未開議但頃唐侍郎病稍告痊日內可以開議矣聞璞使雖於黑吉兩省路礦事稍行退讓至于邀求條欵極力堅持不稍放鬆時用恫喝手段以拒斥我國要求冀達其目的蓋歐美諸國有、俄議約將見決裂之風說者實由是故夫俄國態度業已如斯而我政府亦執理力爭不肯但聽俄人所請者故中俄議約實不易望和平結局也

雜報

●山東女學之進步　山東省城公立女學堂自移設小滄街學舍宏敞來學益多學規亦益加整肅清明放解日各學生曾結隊至西關工藝傳習所等處縱觀織巾織布及綉織屏圍各手藝廠衣服皆穿竹布肩訂銀章一律不施脂粉一望而知其爲戒虛飾崇樸素曾受教育之學生見者莫不嘖嘖稱羡云

●脅船消歸　本埠民船日前出港被賊刧去四隻已載前報昨聞該賊被巡兵所覺潛遁海曲登岸遠逃各船夥被賊困於艙內睁把窃聽渺無聲息始知賊去有于姓船夥被奪食品多被掠去約直三十元幸皆巡歸無大損失云

●毆遁水賊　昨詢南來人云日前水賊等刧乘民船登岸捎刧歸州一帶滿載財物旋於海曲潛避乃被蓋城巡警所悉率隊往剿冀收功利迨近海隅列隊槍擊詎該賊揚帆遠遁竟未獲一人云

●雀鼠相爭　本埠老爺廟前有一菜肆于姓者兄弟二人與一賣魚者言語不合互相爭鬥賣魚者手執木杖將于姓之頭打破經衆勸散于姓自覺負傷帶領多人復回尋毆其人已遠不知去向矣

●瓦工不愼　本埠天合達南棧隔壁有一蓋州李姓者新修房屋於前日鋪設葦笆瓦工失足落於石上其石尖如削刃觸斷腿骨負傷甚重云云

●設局誘人　本埠有無賴者十餘人日設賭局誘騙爲生日昨在粤東公所門前設局掛鑱有一山東年輕之人誤中其計身帶現洋八元均經輸去當時回寓告知其友帶領三人欲往尋毆詎設局諸人得資逃竄巳不知去向云

●爲富不仁　昨聞本埠人云凡鮮魚進港如徵稅查驗或凡有鮮魚進港槪免捐稅埠內業漁諸人均感盛德於客夏送衣傘懸匾額並樹德政碑於西海關河岸俾垂久遠今春埠內販魚各人貸備資本赴煙販買冰鮮黃鱗魚或十籠或八籠共購一百六十餘籠附輪進港煙臺鮮魚素亦無捐故均無載紙入口時有本埠劉富者原以駁貨起家後頗富有知該魚未有載紙乃唆關吏目爲漏稅當將魚籠扣留富獨入關內佯爲各販緩頰且不容該販聞知擬罰六百兩原魚領回詎視魚直數倍又詭稱魚已飭令叫賣被我用銀六百兩估買矣劉某按魚一百六十餘籠約每籠五元有奇而勒令各販每籠用十一元三毛領回該販等別無資本求恩記暫爲墊辦共計獲利正千一百餘元該販等領籠出售幸尚虧資無多該販等多係貧家遭此折傷誠有不能生活者而富之爲富不仁亦可見其一斑矣

叢談

●記虎醫　七十二洞山下有毒虎性剛而貪見人即噬眈眈然負嵎莫抗性素嗜酒醉後愈烈山下見者咸有戒心出山恃后土爲護符且有顚猪作倀虢豺前導於是威愈猛毒愈深適山下有謀築路者人衆集議虎聞垂涎久之爰命虢豺乘機攫取一議員囘穴除其帽剝其衣張口作欲噬狀路人忿之爰大會同人奔至穴口群以二千毛毬相對待虎乃威肖戢逡巡欲去惟自思其欲逐逐又不能一口吸盡因此老羞成怒肝火上騰忿不可遏且素患傷症故咯血愈甚時虎母虎子倉皇失措急求名醫爲之調治有醫某具肘後良方藥到回春延之入診一着手卽驚曰君其傷於七情耶何脈雄而不實若此繼曰君必悞中山毒恒爲瘟風煽惑一觸卽發復誤請庸醫多服激怒之藥所致出其舊方視之如朱苓陳皮柴胡等物無劑不然醫曰噫毋怪其有此病矣朱苓以瀉其腎陳皮以破其氣元神巳損八九病已入裏復誤食柴胡致瘟毒傳入經絡不能發洩止氣不足邪火逆行故有此症必先除數味病始有着手處爰開方令服連服數日疾仍不痊虎怒責之醫曰君病其有隱情乎某技窮矣敢謝不敏醫出以告人有識者曰子醫其病毛未醫其病源也彼心中慾壑太深必須人膏塡滿否則狂躁病卽復發且酒量甚豪常用地皮爲下酒物今山下人膏已吮盡矣地皮巳剷盡矣餒火中燒安得不生斯病乎欲愈其病非多生八萬萬同胞再擴數億億萬里以供其欲不可或曰此隻餓虎安得有如許人膏地皮饜其醉飽吾聞之虎之所畏者惟獅他適逢獅睡着耳瞿然一醒此虎喪於爪牙之下也必矣記者記至此不禁躍然起曰能如是猛虎不患其有瘳乎

NEWCHWANG. FRIDAY. APRIL 27. 1906.

The Japanese Commission headed by Maj.-Gen. Nakamura for taking delivery of the railway north of Changtu met the Russian representatives near Si-Shahotze (西沙河子) on the 21st inst.

It is learned that Gen. Nakamura asked at the meeting to be enlightened upon the existing condition of the colliery and the railway, to which inquiry a detailed reply has been offered. He further proposed as a desirable expediency for the simultaneous transfer of all the railway up north to Changchun (Kwanchengtze), but was informed that a definite answer would be given at Ssupingshieh (四平街) on the following 25th. Besides, three minor points were discussed in the course of which the Russian Commissioners declared that, prior to the delivery of the line being effected, nothing, not even a pin, would be removed from it.

Gen. Nakamura and his party left Tieling for the appointed place of the second meeting on the 24th last.

Mr. A. McGlew who has recently returned from Kobe has left the port with 6 junks early this morning to see if they can be turned to any account with the "Loksang" remaining aground, either in saving her cargo or in time of its probable transshipping.

Messrs. Bush Bros. have been advised that the s.s. "Wonsang" sailed last Wednesday afternoon from Shanghai to make a call at the "Loksang," then touch at Chefoo, thence to come over to Newchwang.

The work of blowing up the remnant of what was once the "Yatsunamura" lying at the bottom of the river just below Messrs. Bush Bros.' Office will be resumed to-day. It has been given out that twice during the day at about 9 in the morning and 2 in the afternoon, explosives will be brought to use for the blasting purpose, and while the men are at work, vessels are warned not to approach within 40 yards of the boat with a red flag planted therein indicating the location of the wreck.

As the wrecking work is to be taken up, when the condition of the tide is more favourable, its hours, we understand, will change from day to day.

Mr. D. Mullen, Postal Officer, I. C. P. O. will start to-morrow morning on a tour of inspection of post offices in the interior, at Tieling, Kaiyuan, Changtu, and Tungchiangtse, with a view to perfecting arrangements for re-opening them shortly.

We hear that the "International Hotel" opposite to the 1st Market Place, as is popularly styled, will be opened to business again under the same management as before its temporary closing.

A plan of the general sanitary inspection ot the Chinese quarters which, by the way, are divided into 8 police districts has been rigorously put in force since the 10th last. 3 days being required for going through each district, 6 of them will have been finished by this evening, leaving only two more about the foreign settlement to be completed by May 3rd.

The examining process is thorough in the minutest details. The occupants of each house, to begin with, have been previously notified by members of the sanitary committee on what particular day its premises, from the recesses on the ceiling down to the corners under the floor, are to undergo a close scrutiny as to the state of cleanliness attained. The inspectors take disinfectants with them in their daily round for liberal use on places they are needed. All premises that have borne well their critical test will be marked "passed."

From the reports sent in so far, the results of inspection have been highly gratifying; inasmuch as not more than one of ten, failing to come up to the exacting requirements re-cleaning has been ordered. Still, there have not been wanting a few 'hard cases,' in which coolies had to be hired by the visiting inspectors for the cleaning purpose, needless to say, at the expense of the neglectful occupants.

The Bank note is quoted at Y. 1.01 with bar silver at 30¼.

(April 26, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	101
	" Dem'd	101¼
	P'ate 15 d/s.	102
SHANGHAI	Bank T.T.	71
	" Dem'd	71¼
	P'ate 15 d/s.	72¼
TIENTSIN	Bank T.T.	102¾
	" Dem'd	102½
	P'ate 10d/s.	101½
LONDON	Bank T.T.	2/-5/8
	" De'd	2/-11/16
	Cr. 4 m/s.	2/1 3/8
AMERICA	Bank T.T.	50
	" Dem'd	50¼
	Cr. 4 m/s.	52
Bar silver	- - -	30¼

營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 料理 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 大和館 永世街三十四號 店主前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百平九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主齋藤富次郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡

御料理 叮嚀專一

御料理並ニ溫泉 毎日新湯 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話二五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號） 奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 温泉付大勉强キレーデヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西關大街南 樓主 大瀨七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 入江能男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天大西關高臺子廟前 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

高砂館本店 奉天十間房第十五號

御旅館料理 奉高館 高砂館支店 奉天城外廿四號 店主 宇本智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田淸五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街 主任 藤島初野（電話號）

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外ぇ長發園隣

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 番）

旅館料理店 旭館本店 奉天小西關 旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号） 奉天小西門外大街路北

御旅館 瀋陽館

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園捴

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田淸

和洋御料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一七号 上松榮治郎

一和洋御料理 遼東館 遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）

奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）

營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）

營口永世街 御旅館支店 金城ホテル

大連市吉野町 御料理支店 金城館

大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡て注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候

猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全く御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

各位樣

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

惠比須ビール新荷着 ●金升洋行 ●盛進商行

着荷廣告

筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、等勝手道具いろ／＼

營口 加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

營口元神廟前 飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

和洋雜貨及紙類 大販賣 奉天城內鐘樓南大路西 千賀洋行（電話 號）

西洋家具 製造販賣 營口青堆子 清水盛木局（電話九十四番）

發賣 料木、杆子 一丈 一丈二 亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒 雜貨一切卸賣 日本酒春駒一手販賣

營口元神廟街 捌荷洋行（電話一四七番）

爲替相場（四月二十六日）
日本向 百〇一圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仝狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢

室內装飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十枚 五十錢以上三十五圓

一疊
一薄縁 二圓六十錢以上三圓
一麻緣通 十枚 八圓
一綿緣通 仝 三圓
一疊敷 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙